

## 都市計画マスタープラン等改定の検討状況について

### 1 これまでの取組

「都市計画マスタープラン」、「都市計画区域の整備、開発及び保全の方針」及び「3方針※」の改定について、令和4年6月22日に都市計画審議会に諮問しました。

庁内会議での検討を進めるとともに、都市計画審議会の小委員会において、現行プランの振り返りや改定の基本的考え方等についてご議論いただきながら、改定に向けた検討を進めています。

また、線引き全市見直しの考え方についても、建築局において、都市計画マスタープラン等の改定とあわせて諮問・検討をしています。

※「都市再開発の方針」「住宅市街地の開発整備の方針」「防災街区整備方針」の3つの方針のこと。

#### (1) 小委員会の開催状況

- ・第1回（令和4年7月14日）：現行プランの振り返り、改定の基本的考え方等
- ・第2回（令和4年9月2日）：都市づくりのテーマ（経済、暮らし）
- ・第3回（令和5年1月20日）：都市づくりのテーマ（賑わい、安全安心、環境）  
地域別構想の方向性（区マスタープラン）

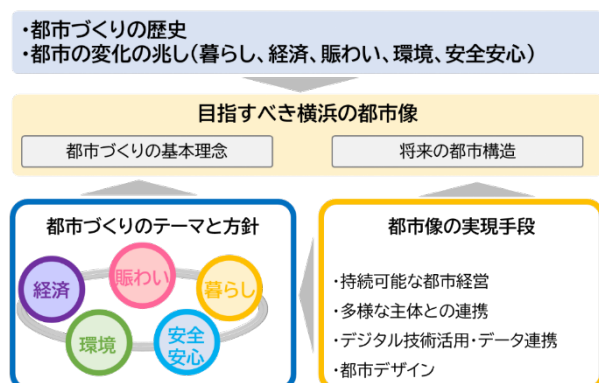
#### (2) 小委員会の委員構成

区分	氏名	職業等	
学識経験のある者	都市計画	高見沢 実※	横浜国立大学大学院教授
	交通計画	森地 茂	政策研究大学院大学教授
	都市計画	小泉 秀樹	東京大学大学院教授
	不動産マネジメント	齊藤 広子	横浜市立大学国際教養学部教授
	環境デザイン	池邊 このみ	千葉大学大学院教授
	都市防災	石川 永子	横浜市立大学国際教養学部准教授
横浜市会議員	磯部 圭太	建築・都市整備・道路委員会委員長	
横浜市の市民	小宮 美知代	横浜のまちづくりに携わった経験のある者	
臨時委員	藤原 徹平	横浜国立大学大学院准教授	

※委員長

### 2 次期プランの構成

「都市づくりの歴史」と「都市の変化の兆し」を踏まえ、「目指すべき横浜の都市像」を描くとともに、「都市づくりのテーマと方針」や「都市像の実現手段」を示していくことを基本として、検討を進めています。



### 3 小委員会での検討状況

#### 【都市づくりのテーマ】

《テーマ①経済》 企業・市民・大学の持つポテンシャルを伸ばし、

チャレンジを支援し、連携を促す都市づくり

**目指す姿** “研究→実証実験→開発→製造→消費”が一つの自治体に揃う横浜の強みを最大限に生かし、経済の循環を生み出す。

《テーマ②暮らし》 自分らしく楽しみ、働き、活躍できる場に溢れ、出歩きたくなるまち

**目指す姿**

- ・地域に暮らす多様な人が、それぞれの趣向に応じて伸び伸びと暮らし、その個性が地域の力になっている。
- ・そうした多様な人が、楽しみ、働き、活躍できる色々な場と機会が地域に溢れている。
- ・家からその場まで、誰でも気軽にアクセスできる。(情報アクセス・移動アクセス)

《テーマ③賑わい》 幾度も訪れたい魅力あふれる都市づくり

**目指す姿**

- ・国内外から多くの人を誘引する「賑わいの核」が、都心部にも郊外部にも形成されている。
- ・それぞれの歴史や個性に基づくその地域らしい賑わいが、住民や企業の愛着を育む。
- ・都市基盤と支援策の充実により、各地の賑わいを支え、より引き出している。

《テーマ④環境》 豊かな自然環境を市民一人ひとりが実感できる都市づくり

**目指す姿** 過去の急激な都市化の中でも自然と都市が近接している都市構造を維持・形成してきた。

この都市構造を生かして、脱炭素をはじめ国際的にグリーン社会への移行が求められる中、都市生活が自然と共にある「グリーンシティ」の姿を、市民一人ひとりが実感しながら暮らしている。

《テーマ⑤安全安心》 激甚化する自然災害等のリスクを踏まえた安全・安心の都市づくり

**目指す姿** 様々なリスクに対する取組と、都市の潜在力とが繋がり、安全安心で、さらに魅力的な都市となっている。

#### 【地域別構想の方向性(区マスタープラン)】

将来のまちづくりに活用される区プランとすることを目指し、わかりやすさを重視し、区の特徴、特性を活かしたまちづくりの記載を充実する。

【委員からの主なご意見】

- ・「横浜らしさ」について、明快に出すべき。
- ・プランがあるだけでは、市民が求める都市づくりは実現しない。そのため、プランの実現に向けた具体施策も併せて検討し、市民や企業の皆様にお示しする必要がある。

4 今後の進め方

都市計画審議会での議論とともに、適宜常任委員会にもご報告しながら、現行プランの目標年次である令和7年度前半の改定を目指して、検討を進めます。

